

JOKATSU+ VOL.2

じょかつプラス



株式会社サンロフト
(統括市/Webサイト制作・システム開発・IT支援事業)

出産による退職者をパート社員として再雇用
スモールステップで管理職へ登用
“システム開発”“IT”という、理系＝男性的なイメージを抱くが、サンロフトでは女性が多く活躍している。広報・マーケティング室長の鈴木あゆみさんに、女性が活躍している理由を伺うと「女性社員の家庭事情を考慮しながら、その人の強みを生かす、松田敏孝社長の柔軟な受入れ体制によるところが大きい。お互いに納得感があれば、わざわざ制度を作ることもない」と語る。現在では管理職のうち半数が女性である。

力を発揮してくれるパート社員には正社員と同様に仕事を任せ、副事業部長に抜擢、「パート管理職」を導入している。また、辞

めた社員を再雇用し、子どもの成長に合わせて労働時間や役割を拡大、時間をかけて管理職に登用している。Webシステム事業部の副事業部長、山田尚子さんもその一人である。

山田さんは育児のためサンロフトを退職し専業主婦をしていたが、子どもが2歳の時に、同社が経営していたパソコンショップのPOPづくりを手伝う機会があった。それがきっかけで、子育て世代のママたちが社会参加の活動について話し合う会(現NPO法人e-Lunch)に参画、山田さんの明るさと多面的な視点が松田社長の目に留まり、主婦向けのWeb制作に携わる主婦レ



Webシステム事業部副事業部長 山田尚子さん

発行日：2013年11月29日
発行：静岡県経済産業部 労働政策課

企画・制作：株式会社するキャリア
〒420-0852 静岡市葵区紺屋町 11-1 浮月ビル5階
TEL：054-252-8820 FAX：054-270-6520
URL：http://www.uruoipplus.jp

ポーターのリーダー的な役割を任せられた。松田社長は、その仕事ぶりから、SEと組み合わせることでソフト開発のテストチェックの仕事に適任だと判断、彼女の仕事のセンスがここでも発揮された。ちょうど育児が落ち着いた時期で、この仕事が本格的な仕事復帰となった。未経験でも持ち前のチャレンジ精神で知識経験を増やし、女性ならではの視点や細かい気配りを活かし、気がつけばシステム事業部の課長に。現在はWebシステムの事業部の副事業部長として活躍している。

パソコンショップに遊びに来ていた3歳の女の子は、今は19歳の看護学校生。お子さんの成長とともにお母さんの活躍ぶりも成長している。

【会社概要】株式会社サンロフト
代表取締役社長 松田敏孝
所在地 静岡県焼津市越後島385番地
従業員数：48人(男性28人・女性20人)
設立 1968年7月(併用電気家電販売、1992年Webシステムに社名変更)
事業内容：Webサイト制作、業務システム開発、幼稚園・保育園のIT化支援事業、「バステルIT新聞」等のセールスプロモーション/支援団体 NPO法人 イーランチ
HP：http://www.sunloft.co.jp

活躍女子の窓

～自分らしさを大切に未来に向かう活躍女子～

派遣社員の方々とクライアント企業との円滑なコミュニケーションを実現する人材派遣のコーディネーター業務を行っている宮澤さん。彼女には、1歳10ヵ月になるお子さんがいらっしゃいます。育児休業後復職し、家庭と仕事を両立させる彼女の過去、現在、そして未来にせまります。

「働き女子のしごと塾」への参加動機
～変化、悩み～

宮澤さんが入社したのは8年前。東京、大阪の勤務を経て、静岡へ。静岡への赴任が彼女の転機となった。赴任後すぐに出産、復帰後は外勤営業から内勤になり、プライベート・仕事の両方で環境が大きく変化した。家庭との両立、新しい職種での苦勞、職場での人間関係、様々なことが重なり自信を失いかけていた彼女。この現状から抜け出そうと参加したのが「しごと塾」だった。

しごと塾に参加しての変化
～魅力、強み～

自信を失い、自分の本来持っていた良さも見失いかけていた彼女だったが、しごと塾に参加し、そこで行われるグループワークを通し、他者から評価されることで、自分の強みを再認識できたという。そんな彼女は、自分の強みを、「初対面の相手と打ち解けることが早く、本音を引き出すのが得意である。」と語った。自分の強みを語る彼女は、より活き活きと魅力的に見えた。また、しごと塾で出会う、年齢、立場の異なる様々な女性が、それぞれ悩みを抱え、その中で頑張っている姿に勇気をもらったという。

今後について
～未来のために今は力を蓄える～

自分の強みを発見しつつある彼女。強みを活かし、「今後は会社に少しずつ変化をもたらしていきたい」と語る。やるべき仕事+αを心掛け、今後も彼女らしく会社に貢献していくことだろう。また、「これからも自分を見直すこと、高めることを忘れずに、子供がもう少し大きくなったら寝食も忘れるほど熱中できる仕事があったらいい。そのために今は、力を蓄える。」と語った。この言葉から、彼女が現状を大切にしつつも、未来に向けてすでに走り出していることがわかる。今を大切にしている彼女だからこそ、今できること、学べることを逃さず、自分の力にできているのだ。今後、益々魅力的になる彼女の活躍に目が離せない。

<プロフィール>

- 名前：宮澤真理さん
- 出身地：静岡県静岡市
- 仕事内容：人材派遣のコーディネーター業務
- 入社年月：2005年4月
- あなたにとって仕事とは…
- ・個人として評価され、働いた対価を得られる場
- ・失敗、反省、挑戦など仕事を通じ自分が成長できる場



管理職の虎の巻

なぜ、女性は管理職になりたがらないのか？

経営者の期待と働き女子たちのホンネ

指導的地位に占める女性の割合を2020年までに30%程度とする政府目標にもかかわらず、企業等の役員、管理職における女性の割合は依然として低く、特に静岡県は35位。(独立行政法人国立女性教育会館「男女共同参画統計データブック2012-日本の女性と男性」より)

女性活用に積極的な企業でも「女性に管理職の打診をすると断られる」という話をよく耳にする。本当に女性は管理職になりたがらないのでしょうか。

多様すぎる女性の選択肢

男性は60才までの40年間働くのが当たり前。だから、管理職を目指し収入をあげようと努力をする。一方、女性は、結婚・出産をきっかけにリタイアという選択肢もある。多様な生き方があるからこそ、男性と同じように「管理職を目指しましょう」という枠組みが通用しない。仕事を続けたいと考える女性は多いものの、家庭と仕事の両立に悩み、長い先のキャリアまで考えられない。仕事のモチベーションが男性とは違う所にあるということを知っておく必要があります。(るるキャリア代表 内田美紀子)

一人の人生に寄り添う気持ちで

「女性社員の人生ストーリーを考えて、目標やビジョンを話している。1年どうするか、この先どうするか時間のある限り聞く(介護サービス業の男性経営者)」

スモールステップで仕事を任せ

「最初は“ムリ”と思っても、階段を設けてもらい仕事の領域を広げ、徐々に難しい仕事ができるようになっていった。管理職をお願いされた時“今やっていることと同じ”と言われ、引き受けた。後から役割がついてきた感じ(製造業の女性管理職)」

特性を活かしたマネージャー像を示してあげる

「仕事は一生懸命やるが、今までやったことのない“組織をまとめる”ことに抵抗があり、できないと思った。“その、おせっかいな性格を活かして”と言われると、そういうスタイルでいいのかと気持ちになる(サービス業の女性管理職)」

組織や肩書きに関係なく、自分で良かれと思ったことは、口にするし実行するという女性特有の部分を活かし、「それいいね」と管理職が意識的に褒める。それが彼女たちのモチベーションを引き出す秘訣。「あなただから」管理職をお願いしたいという上司からの期待と、寄り添いながら、個人の人生と2-3年後のキャリアイメージを一緒に考えることが重要だと思います。

information

～お問い合わせ・お申し込み～
株式会社するキャリア
TEL：054-252-8820 Mail：info@uruoipplus.jp

静岡県委託事業 企業の成長は女性が握る！ ～事例から学ぶ人材活用と実践的意識改革～

- VOL.2 2014年1/15(水)13:30～16:30
育児休職者のマインドアップと復帰後の戦力化 ～管理職・育児取得者のホンネトーク～
- VOL.3 2014年2/26(水)13:30～16:30
管理職の一言が女性社員のモチベーションを変える！ ～成果を出す管理職とは～

静岡県委託事業 女性リーダー研修【全3回】 ～自分らしいリーダー像を創る～

- VOL.1 2014年1/22(水)13:30～17:00
『女性管理職ロールモデルカフェ』～女性の視点を活かしたリーダーとは～ 女性管理職によるパネルディスカッション
- VOL.2 2014年2/5(水)13:30～17:00
『伝える力・巻き込む力をつける』～相手も主体的になれるコミュニケーション術～
- VOL.3 2014年2/19(水)13:30～17:00
『自分らしいリーダー像を創る』～従来型の管理職とは違う！自分の強みを活かす～

※終了したセミナーのレポートはHPよりダウンロードできます。(12月12日よりup予定)
http://www.uruoipplus.jp/training.html